

検察事務官（検察事務官採用責任者）



【主な職歴】

平成 2年4月 東京地方検察庁採用
平成 7年4月 東京高等検察庁
平成25年4月 千葉地方検察庁
令和 3年4月 法務省
令和 5年4月 山口地方検察庁事務局長
令和 7年4月 静岡地方検察庁事務局長
令和 8年4月 横浜地方検察庁事務局長

【学生の皆さんに向けてメッセージ】

皆さんは、卒業後、社会の一員としてどのような貢献ができるか考えたことはあるでしょうか。

長い人生のうち学校卒業から60～70歳頃までの間は、多くの方が何らかの仕事に携わるものと思います。

検察庁は、警察などの関係機関と協力しながら、人々が安心して暮らせる社会を維持するために重要な役割を果たしています。

もし公務員として就職した後は、人生のかなりの時間、それぞれの省庁・自治体の業務と向き合うことになります。

自分の仕事が社会にとって重要な役割を持っていると実感できることは、充実した人生を送るためにも大切なことです。

社会がどのように変革しても（AIの一層の発達や、さらに斬新な技術が現れたとしても）、いつの時代でも検察の役割は不可欠です。

長く働いている間も自分自身が社会に貢献していることを実感できることは、仕事に対するモチベーションを維持する上で大きな意味を持ちます。

検察庁であなたの力を発揮し、捜査・公判業務に取り組むことにより、安心して暮らせる社会の実現のために貢献してみませんか。